

教科：高校体育

これまでの指導

- ①口頭説明
- ②ホワイトボード等を使っての図示
- ③ビデオを見せて実際の動きの中での説明
- ④生徒または教員による 良い見本・悪い見本
- ⑤生徒を動かしている中での声掛け

ICT 活用

- i 上記①②の部分にプレゼンテーションソフトで説明
- ii ⑤の部分で遅延録画装置などを使用し、実際に自分の動きを確認させる
- iii 自分たちのゲームなどをビデオに録画し詳しく分析させる

「技術ポイントへのアプローチが増え、より分かりやすい。」「生徒がイメージしやすい。」「興味を持たせやすい。」などメリットは多々あると思われるが、i については、果たして50分の授業の中で、動くシーンを多く削ってまでの効果があるかは疑問であるし、準備に注ぐ時間を考えると…。

改善策としては、各種目のプレゼンテーションをファイルとして共有できれば準備にかける時間を短縮できる。つまり専門分野の教諭が作成し、いつでも教科内（もっと広い枠）で相互に使えれば、より活用しやすくなると思われる。

また ii・iii についてはすぐにでも活用できる。